

市町村名	学 校 名 等	活動の区分	
橿原市	橿原市立鴨公小学校	学校支援	放課後 子ども教室
(住所) 奈良県橿原市縄手町 3 2 4	(電話) 0744-22-2364	○	○
(活動の概要) ≪学校支援≫ ○お話の会による本の読み聞かせ活動 ○学習教室 ○クリーンキャンペーン(奉仕活動) ○花いっぱい運動 ○地域との連携活動(ふれあい祭、地藏盆、児童館祭) ○安全見守り活動 ≪放課後子ども教室≫(鴨公小学校だけのこ学級) ○全学年共通の取組 ・基本的学習習慣の定着 ・夏休みのがんばり教室(学力補充) ・地域行事への参加(夏祭り) ・児童館行事への参加(七夕、餅つき) ○各学年の取組 1年～6年			

≪学校支援≫

1【実施主体】

鴨公小学校学校地域連携本部

2【活動支援スタッフ体制】

コーディネーター 2人
ボランティア登録数 45人

3【主な活動内容】

(お話の会による本の読み聞かせ活動) 実施時期 6月～2月 年間3日実施

ドリームさん(地域のボランティア活動団体)に、全校及び幼稚園対象にして年数回、本の読み聞かせやペープサートや人形劇を配達していただいています。子どもたちは、自然に楽しい本の世界に引き込まれていき、読書の意欲を高め、読書の世界を広げることができました。

(学習教室活動) 実施時期 7月～12月 年間15日実施

長期休業中(夏期、冬期)を中心に放課後、宿題の片付けや自習のアドバイスをを行うことを目的とした活動で、夏期休業中はプール登校の日や学校・学年登校日等と調整して学年にわかれて学習教室を実施しました。また、冬休み前・冬期休業中も日程を調整した学習の遅れを取り戻す学習や読書習慣をつけるための教室を実施した。

(クリーンキャンペーン奉仕活動) 実施時期 8月～11月 年間3日実施

学校及び学校周辺の藤原宮跡や通学路の除草・ゴミ拾いなどを児童・保護者・地域の方々が一緒になって夏期休業の終りや運動会・マラソン大会などの大きな行事等に実施した。人と人のつながりを深めることが出来る活動として今後も継続させたいとの声

が地域の方々からも聞いた活動であった。

(花いっぱい運動) 実施時期 5月～10月 年間 2日実施

年2回、地域の皆さんと子どもたちがいっしょになって、花いっぱい運動としてプランターにパンジーやチューリップの球根などの季節の花を植えました。そして、児童館や公民館や学校の前の歩道上に並べました。美しい花々は地域の皆さんの心を和ませてくれています

(地域との連携活動(ふれあい祭、地藏盆、児童館祭)) 実施時期 7月～1月 年間3日実施

○7月23日飛騨児童盆に、たくさんのお子どもたちが参加しました。当日は、市長・議長・教育長も参加してのにぎやかな盆踊りになりました。八木中の吹奏楽などのアトラクションを初め、盆踊りなどを教えてもらっての地域の伝統行事にふれることが出来ました。

○11月には鴨公ふれ合い祭りを実施しました。この祭りは、午前中は子どもの学習の様子を見ていただき、12時から地域の皆さんといっしょに、子ども達の展示見学と体育館での綱引きやビンゴゲームで盛り上がりしました。

午後の展示では、地域の方に竹トンボの作り方や遊び方を教えてもらったり、昔懐かしい遊びを教えてもらったりしました。また、地域の方々と一緒に綱引きやビンゴゲームをして一日たっぷり楽しみました。

○1月19日には、児童館でもちつきの体験をさせていただきました。杵と臼で餅をつく体験を初めてした子どもも多く、ボランティアの方々の協力で伝統や食育に鴨公ふれ合い祭りを実施しました。

(安全見守り活動) 実施時期 4月～3月 年間 毎日実施

子どもたちの安全見守りのために、登下校時に保護者や地域の方々によって、見守り活動が展開されています。手に安全旗を持ち、ウインドブレーカーを着て交差点等に立ち、安全・安心な学校生活が送れるように日夜頑張ってくださいています。そのため、大きな事故や事件に巻き込まれることなく、子どもたちは日々の生活を送っています。

《放課後子ども教室》(鴨公小学校たけのこ学級)

1【活動場所】

鴨公小学校、飛騨児童館等

2【活動状況】

毎週 火曜日・木曜日(夏期休業中11日) 実施・年間41回実施

3【参加児童数】

登録数 80人

4【活動支援スタッフ体制】

安全管理員 1名

学習アドバイザー 22人

5 【安全管理体制】

安全管理委員を1人を配置。学習アドバイザーが活動中常時付き添い、安全管理に努める。

6 【主な活動内容】

《全学年共通の取組》

- ・ 基本的学習習慣の定着
- ・ 夏休みのがんばり教室（学力補充）
- ・ 地域行事への参加（夏祭り）
- ・ 児童館行事への参加（七夕、餅つき）



《各学年の取組》

< 1年 >

○主な活動

- ・ 自分の似顔絵を画用紙に描く
- ・ なかまづくり（ボール運動、鬼ごっこなど）
- ・ 藤原京の探索（虫とり・コスモス巡り）
- ・ 共同制作『コスモス畑に群がる虫たち』
- ・ 昔の遊び体験（石けり、メンコなど）

< 2年 >

○主な活動

- ・ なかまづくりゲーム
- ・ 手話歌の練習
- ・ 読み聞かせ
- ・ 国際学習（韓国について）
 - 調べ学習
 - 共同制作
 - 遊び体験
 - 食文化に触れる。



< 3年 >

○主な活動

- ・ 校区をめぐる。
- ・ 善行寺の絵（共同制作）を描く
- ・ 善行寺、村田巡査の碑のまとめ
- ・ グローブ工場の見学
- ・ 世界の国々を調べる。
（オーストラリア、アメリカ、フランス）



< 4年 >

○主な活動

- ・ 学習習慣の定着
- ・ 鴨公小校区の現在の様子と昔の様子を比べる。



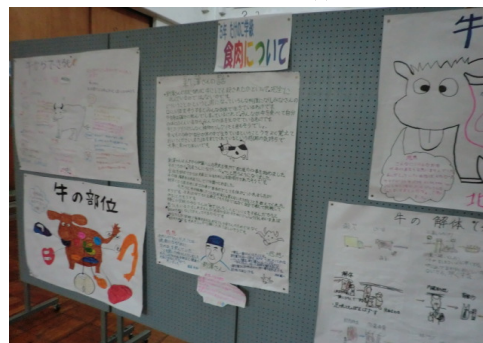
- ・昔の様子を写真や聞き取りしたことから、地図と画用紙にまとめた。

< 5 年 >

○主な活動

- ・食肉産業の学習を実施。
- ・様々な部位の肉を試食した。
- ・牛が支える私たちの衣・食・住を本で学習した。
- ・牛が食卓に並ぶまでの過程をDVDで視聴した。
- ・学習した以上の過程を模造紙にまとめた。

子どもたちの作品



< 6 年 >

○主な活動

一学期（夏期休業中も含む）

アメリカにおける公民権運動を描いた「ローザ・パークス物語」をテープ起こしして、それを見ながら視聴することで、より深く内容を理解できるようにした。ここでのねらいは、①差別とはどんなものなのかを知り、差別の間違いをしっかり考える②差別はされている側の問題ではなく、周りの間違った考え方によって起こることを確認することであった。

二学期

戦争と差別の関係をヒロシマ修学旅行を意識して取り組んだ。張本選手の歩んできたことを通して、朝鮮人への差別の現実を知った。また、下原隆資さんの聞き取りを通して、戦争と差別の関係や差別されながらも人としての温かさを失わなかった事実についても学んだ。さらに、戦争のまっただ中でも差別はなくならなかった厳しい現実についても知った。



そこからの取り組みとして、「橋のない川」の取り組みにつなげていった。部落差別の事実を知るとともに、その厳しい中で立ち上がってきた人たちのたくましさを通して、水平社が創られた意味を考えた。

三学期

今まで学習してきたことのまとめとして、「橋のない川」で描かれている孝二とマチエの生き方を通して、人としてどちらの生き方が大切なのかを考えた。そして実際に、水平社博物館へ行き、見学する中で、自分たちが住んでいる町の人たちが

水平社で活動してきたことも知った。その後、西光寺や山田孝野次郎の碑、水平社宣言の記念碑を観てきた。



そして、今までの学習を振り返り、今、自分たちの思っていることをたけのこ学級の在校生に閉級式の際に伝える言葉としてまとめた。

